



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月2日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
 問合せ先責任者(役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,520	4.4	166	77.9	170	57.0	116	69.9
28年3月期第1四半期	3,373	6.3	93	△6.1	108	2.6	68	△5.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 120百万円(57.9%) 28年3月期第1四半期 76百万円(3.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	14.03	—
28年3月期第1四半期	8.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	9,616	4,497	46.8
28年3月期	9,631	4,443	46.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 4,497百万円 28年3月期 4,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,705	△1.4	257	47.0	258	34.0	166	31.3	19.95
通期	14,088	△2.7	677	5.5	677	1.9	443	1.9	53.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) — 、除外 一社 (社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期1Q	8,345,370株	28年3月期	8,345,370株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	14,362株	28年3月期	14,262株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期1Q	8,331,023株	28年3月期1Q	8,331,486株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策による設備投資の増加や雇用環境の改善等により国内景気の回復が期待されましたが、新興国経済の減速懸念や英国のEU離脱の選択等による株価や為替の急激な変動等により先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、原材料価格の上昇や人件費の高騰等により商品の値上げが続いており、消費者の生活防衛意識が強まることが予想されます。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業において販売数量が前年同期比5.0%増と好調に推移したことや、調味料関連事業においても販売が好調だったこと等により、前年同期比4.4%増の3,520百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業と調味料関連事業がともに販売が好調だったことや前期の下期に行った販売価格改定の効果等により、営業利益は同77.9%増の166百万円、経常利益は同57.0%増の170百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同69.9%増の116百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高ともに増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定額以上確保する努力をしております。

当セグメントの売上高につきましては、鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比9.4%（約21円）低く推移したものの、マヨネーズ向けや冷凍食品向け等、製菓製パン以外の業界への拡販に努めた結果、販売数量が前年同期比5.0%増となり、液卵売上高は前年同期比1.7%増の2,994百万円となりました。また、加工品売上高は仕入商品の販売増により同37.2%増の135百万円、その他売上高は同17.6%増の65百万円となりました。この結果、当第1四半期連結累計期間の合計の売上高は、同3.1%増の3,194百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の増加や販売価格改定の効果等により、前年同期比66.9%増の135百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、既存商品の販売が好調に推移していることに加え、新商品による新規顧客の獲得や当社グループ内での輸入粉卵の委託加工等の販売が増加したこと等により、前年同期比26.2%増の351百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に売上高の増加や工場の作業効率化による経費の削減等により、前年同期比206.6%増の28百万円となりました。

③その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比3.9%減の6百万円となり、セグメント利益は同29.4%減の2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は9,616百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円減少しました。

流動資産は4,934百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の減少90百万円、受取手形及び売掛金の減少133百万円等によるものであります。

固定資産は4,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ184百万円増加しました。主な要因は、建物の増加727百万円及び有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定の減少564百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は5,118百万円となり、前連結会計年度末に比べ68百万円減少しました。

流動負債は3,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円増加しました。主な要因は、短期借入金の増加134百万円、支払手形及び買掛金の減少69百万円、未払消費税等の減少75百万円等によるものであります。

固定負債は2,015百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少77百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は4,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益116百万円の計上及び配当金の支払い66百万円により利益剰余金が50百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の46.1%から46.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月9日の「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,948	1,858
受取手形及び売掛金	2,057	1,924
商品及び製品	755	734
仕掛品	60	53
原材料及び貯蔵品	267	273
繰延税金資産	25	30
その他	23	64
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	5,133	4,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,004	1,732
機械装置及び運搬具(純額)	753	770
土地	1,886	1,886
その他(純額)	711	148
有形固定資産合計	4,355	4,537
無形固定資産	28	26
投資その他の資産		
投資有価証券	94	99
その他	31	29
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	113	117
固定資産合計	4,497	4,681
資産合計	9,631	9,616
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	685	616
短期借入金	1,517	1,651
未払法人税等	116	62
未払消費税等	78	3
賞与引当金	64	33
役員賞与引当金	—	10
その他	631	725
流動負債合計	3,095	3,103
固定負債		
長期借入金	1,447	1,370
長期末払金	567	567
繰延税金負債	55	55
その他	21	21
固定負債合計	2,092	2,015
負債合計	5,187	5,118
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	3,597	3,647
自己株式	△6	△6
株主資本合計	4,413	4,463
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	33
その他の包括利益累計額合計	30	33
純資産合計	4,443	4,497
負債純資産合計	9,631	9,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,373	3,520
売上原価	2,896	2,937
売上総利益	477	583
販売費及び一般管理費	383	416
営業利益	93	166
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	2	6
建設協力金免除益	14	—
その他	2	1
営業外収益合計	19	8
営業外費用		
支払利息	4	4
営業外費用合計	4	4
経常利益	108	170
特別利益		
補助金収入	10	—
特別利益合計	10	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	118	167
法人税、住民税及び事業税	48	58
法人税等調整額	1	△7
法人税等合計	49	51
四半期純利益	68	116
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	68	116

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	68	116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	3
その他の包括利益合計	7	3
四半期包括利益	76	120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76	120
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,097	269	3,367	6	3,373
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	9	9	—	9
計	3,098	278	3,376	6	3,383
セグメント利益	81	9	90	3	93

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	90
「その他」の区分の利益	3
四半期連結損益計算書の営業利益	93

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,194	320	3,514	6	3,520
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	31	31	—	31
計	3,194	351	3,546	6	3,552
セグメント利益	135	28	164	2	166

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	164
「その他」の区分の利益	2
四半期連結損益計算書の営業利益	166

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。